

安全データシート

作成日 2013 年 6 月 12 日

改訂日 2016 年 5 月 25 日

改訂日 2018 年 1 月 31 日

1. 製品及び会社情報

対象物の名称

製品名 ブラインダーホワイト

英名 BLINDER white

社内整理番号 201801A

提供者の情報

製造元

会社名 FLEET (LINE MARKERS) LTD.

住所 Fleet House, Spring Lane,
Spring Lane Industrial Estate,
Malvern, Worcs.

WR14 1AT

電話番号 +44(0) 1684 573535

会社名 東洋グリーン株式会社

住所 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8

電話番号 03-3249-7731

担当 毒物劇物取扱者

用途

本製品は主に競技場の芝生へのラインを描くために使用される屋外用塗料である。

2. 危険有害性の要約

ピクトグラム

なし

注意喚起語

なし

危険有害性

H316 軽度の皮膚刺激（反復暴露した場合）

H320 眼刺激（直接暴露した場合）

注意書き

P101 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

P102 子供の手の届かないところに置くこと。

P103 使用前にラベルをよく読むこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

GHS による危険性・有害性の分類

① 危険性

火薬類 分類対象外

可燃性・引火性ガス 分類対象外

可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	区分外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	区分外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	区分外
金属腐食性物質	区分外
② 有害性	
急性毒性：経口	区分外
急性毒性：経皮	分類できない
急性毒性：吸入（気体）	分類できない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉塵）	分類できない
急性毒性：吸入（ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性と皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
③ 環境に対する有害性	
水生環境急性有害性（急性）	分類できない
水生環境急性有害性（長期）	分類できない

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
危険有害性のある成分	詳細はメーカーより非開示

4. 応急措置

応急措置	
眼に入った場合	ペイントが乾く前に大量の水で洗い流す（最低10分以上）。医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣服を脱ぎ、液が乾く前に石鹼と水で洗い流す。
飲み込んだ場合	十分な量の水を飲む。嘔吐させないようにする。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

	本製品の水性懸濁液は可燃性ではない。 乾燥した皮膜は可燃性である。100℃以上で飛び散る場合がある。
引火点	可燃性ではない
自然発火の温度	適用されない

消火物質 水、泡、二酸化炭素もしくは粉末式消火器のすべてが適用できる

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 「8. 暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。作業は換気の良い場所で行う。

環境に対する注意事項 河川、湖沼、地下水等に流入しないようにする。砂、土などに吸着させ回収し、法令に従い処理する。

除去方法 法令に従い処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 「8. 暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。薬液調整作業は換気の良い場所で行う。

安全取扱注意事項 吸い込んだり、眼や皮膚、衣服に触れないよう十分注意する。保護衣、保護靴、保護手袋、保護眼鏡等を着用する。作業時は霧状にならないように注意する。容器の再利用は避ける。作業場での飲食、喫煙を避ける。

保管
適切な保管条件 換気の良い5℃～30℃の場所で、容器を密閉し、凍結を避け保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度
日本産業衛生学会 設定されていない
厚生労働省告示 設定されていない

曝露防止 換気の良い場所で取り扱う

保護具
呼吸器の保護具 調整時にはマスクを着用する
手の保護具 保護手袋（ゴム手袋）
眼の保護具 保護眼鏡（ゴーグル型）、保護面
皮膚及び身体の保護具 長袖保護衣、保護手袋、保護眼鏡を着用。

適切な衛生対策 取り扱い後は手を良く洗う。汚染した衣服は他のものと別に洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
形状 液体
色 白色
臭い わずかに臭いあり
pH 7～9

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲
沸点 およそ 100℃
引火点 不燃性
凝固点 データなし

爆発特性
爆発限界 上限：設定されていない
下限：設定されていない

比重 1.6～1.7
粘度 データなし
溶解性
水に対する溶解性 可溶
溶媒に対する溶解性 データなし
オクタノール／水分配係数 データなし

蒸気圧	データなし
解離定数	データなし
蒸発速度	データなし
揮発性有機化合物	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件、輸送条件で安定
避けるべき条件	データなし
危険有害分解生成物	データなし
他の物質との重合	データなし

11. 有害性情報

	<p>本製品は、人畜に対する毒性は低いと考えられる。</p> <p>本製品は、眼・皮膚への頻繁な接触、とくに、本製品を接触させたまま乾燥させると刺激をもたらすおそれがある。</p> <p>長年にわたる実地経験においては慢性や急性の影響は見られない。</p> <p>本製品は適切に取り扱う限りでは、健康被害はないと考えられる。</p> <p>毒性データは推定である。</p>	
性毒性推定値 (ATE)	製剤 (経口)	LD50 (ラット) >2000mg/kg 試験方法 EEC 84/449, B.1
	製剤 (経皮)	データなし
局所効果	吸入毒性	データなし
	眼刺激性	データなし
	皮膚刺激性	軽微 (ウサギ) 試験方法 EEC 84/449, B4
	皮膚刺激性	軽微 (ウサギ) 試験方法 EEC 84/449, B5
感作性		データなし
慢性毒性 (最大無作用量)		データなし
発ガン性		データなし
変異原性		データなし
催奇形性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性	単回暴露	データなし
特定標的臓器毒性	反復暴露	データなし

12. 環境影響情報

化学的酸素要求量 (COD)	800 mg/l (洗い流す際は、濃度を低くする <500 mg/l)
	<p>本環境データは Severn Trent Water Authority によって確認されている。</p> <p>ブラインダーホワイトは水と完全に混和でき、低い濃度では魚に対しても低い毒性を示している。</p> <p>経験によると、本製品を適切に使用する限り、環境に悪影響を及ぼさない。</p>

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法

残余廃棄物

本製品は指定有害廃棄物に該当しない。

本製品は、埋設・焼却のために液体を凝固させ固形化出来る。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方

汚染容器及び包装 公共団体に委託して処理する。
関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国際海上危険物規程 (IMDG)	該当しない
民間航空業界団体規則 (IATA)	該当しない
EEC 危険有害性分類	該当しない
欧州危険物国際道路輸送協定 (ADR)	該当しない
欧州危険物国際鉄道輸送規則 (RID)	該当しない

国内規制

航空法規則	航空・海上輸送、陸上輸送に制限はない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

梱包毎に漏れのないことを確認し、転倒、落下、摩擦等で包装が破損しないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行い、有蓋車又はシート等を掛けて運搬する。容器の破損、漏れがないことを確かめる。水濡れを避ける。

15. 適用法令

肥料取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	指定化学物質に該当しない
航空法規則	該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	該当しない

16. その他の情報

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者提供されるものであり、安全を保障するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関するすべての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱いの実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されることをお願い致します。

以上